

AIIT 修了生コミュニティ 2024年度活動

地域コミュニティにおけるつながりの創出

活動概要

活動背景

- 22年度PBLでは、お金によらない地域住民の相互扶助(交流)を促進する仕組みとして、ご近所での育児依頼・支援マッチング、活動実績を「信用ポイント」で表現する仕組みを考案。
- 育児では専門性を持つ人が関わることへのニーズ、供給のバランスが取れない懸念により、23年度以降は育児以外で、地域での相互扶助(交流)を促し、コミュニティを構築する仕組みを検討。

活動内容

- モデルケースとして品川区八潮地域を対象に、地域の集会への参加、Web等でデータ調査により、地域の困りごとを把握
- 地域活動の拠点である地域センターをもっと活用して交流機会を生むには何が必要か、住民に調査を行い、解決方法を検討・提案する

活動メンバー

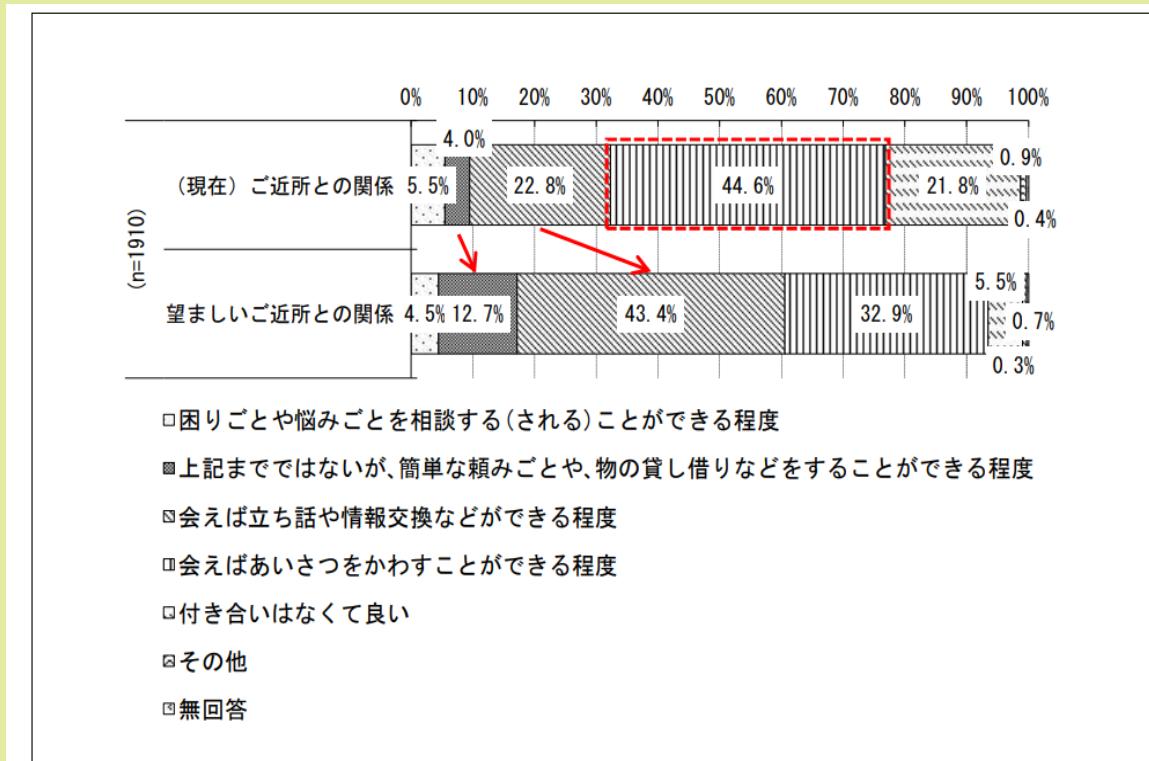
- 橋口洋子 2023年 事業設計工学コース 修了
- 森田真太郎 2023年 創造技術コース 修了

指導者メンバー

- 吉田敏 教授
- 田部井賢一 准教授

地域コミュニティでのつながり創出

- ✓ 品川区実施のアンケートでは、近所付き合いなどの交流で住民が望ましいと考える近所付き合い程度として、「合えば立ち話や情報交換できる程度」が最も多いが、現状は「あいさつを交わすことができる程度」が最も多い。
- ✓ 居住年数別の内訳では、5年未満の居住者で望ましいと思う付き合い方と現状のずれがより大きい。

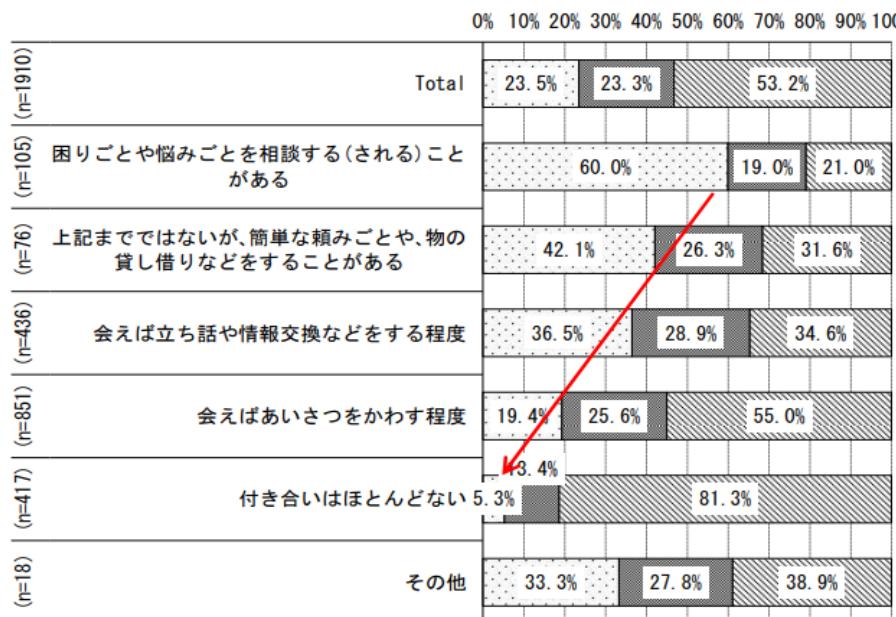


【問 10、11_居住年数別】									
	合計	困りごとや悩みごとを相談する(される)ことがある	上記までではないが、簡単な頼みごとや、物の貸し借りなどをすることがある	会えば立ち話や情報交換などをできる程度	会えばあいさつをかわす程度	付き合いはほとんどない	その他	その他	無回答
Total	1910	105 100.0%	76 4.0%	436 22.8%	851 44.6%	417 21.8%	18 0.9%	7 0.4%	
Total	1910	85 100.0%	243 12.7%	829 43.4%	628 32.9%	106 5.5%	13 0.7%	6 0.3%	
1年未満	151 100.0%	4 2.6%	0 0.0%	8 5.3%	76 50.3%	62 41.1%	0 0.0%	1 0.7%	
1年未満	151 100.0%	5 3.3%	12 7.9%	49 32.5%	65 43.0%	19 12.6%	1 0.7%	0 0.0%	
1~5年未満	406 100.0%	15 3.7%	11 2.7%	43 10.6%	166 40.9%	170 41.9%	1 0.2%	0 0.0%	
1~5年未満	406 100.0%	12 3.0%	42 10.3%	151 37.2%	154 37.9%	44 10.8%	2 0.5%	1 0.2%	
5年~10年未満	283 100.0%	13 4.6%	11 3.9%	57 20.1%	129 45.6%	66 23.3%	6 2.1%	1 0.4%	
5年~10年未満	283 100.0%	12 4.2%	39 13.8%	111 39.2%	98 34.6%	21 7.4%	1 0.4%	1 0.4%	
10年以上	1066 100.0%	73 6.8%	54 5.1%	328 30.8%	479 44.9%	118 11.1%	11 1.0%	3 0.3%	
10年以上	1066 100.0%	56 5.3%	150 14.1%	517 48.5%	310 29.1%	22 2.1%	9 0.8%	2 0.2%	

地域コミュニティでのつながり創出

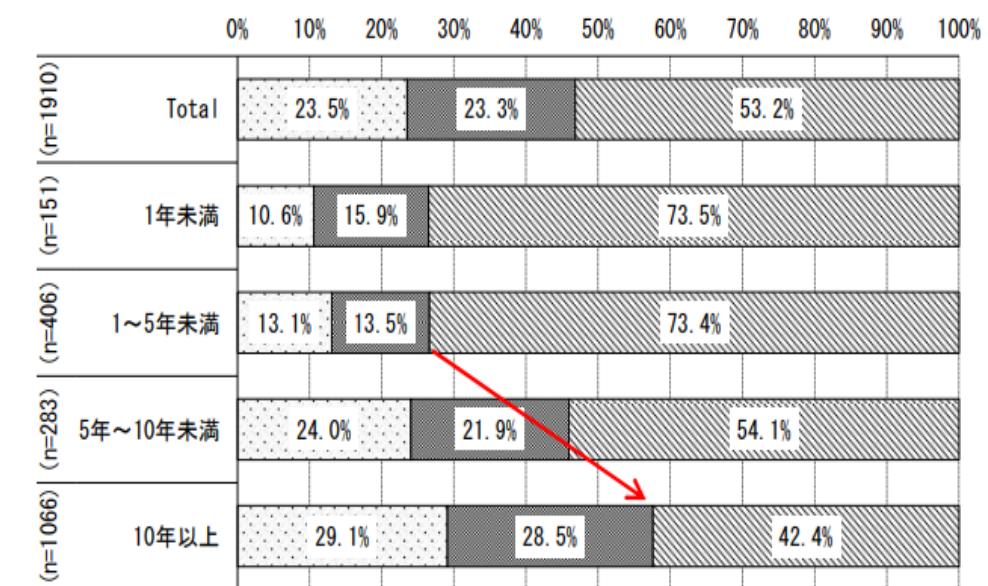
- ✓ 現在までになにかしら活動に参加したことがある人ほど、ご近所との関わりがある。
地域活動やボランティアに参加している人はご近所さんと密に付き合っている。
- ✓ 長年居住していると何かしらの活動に参加したことがある人が増える。
地域活動やボランティアに参加したことがない人は各階層で多い。

【問23_今までに何かしらの活動に参加している・参加していた_現在のご近所との関わり方別】



□現在、何かしらの活動に参加している
□過去に何かしらの活動に参加したことがある
□参加したことはない
□無回答

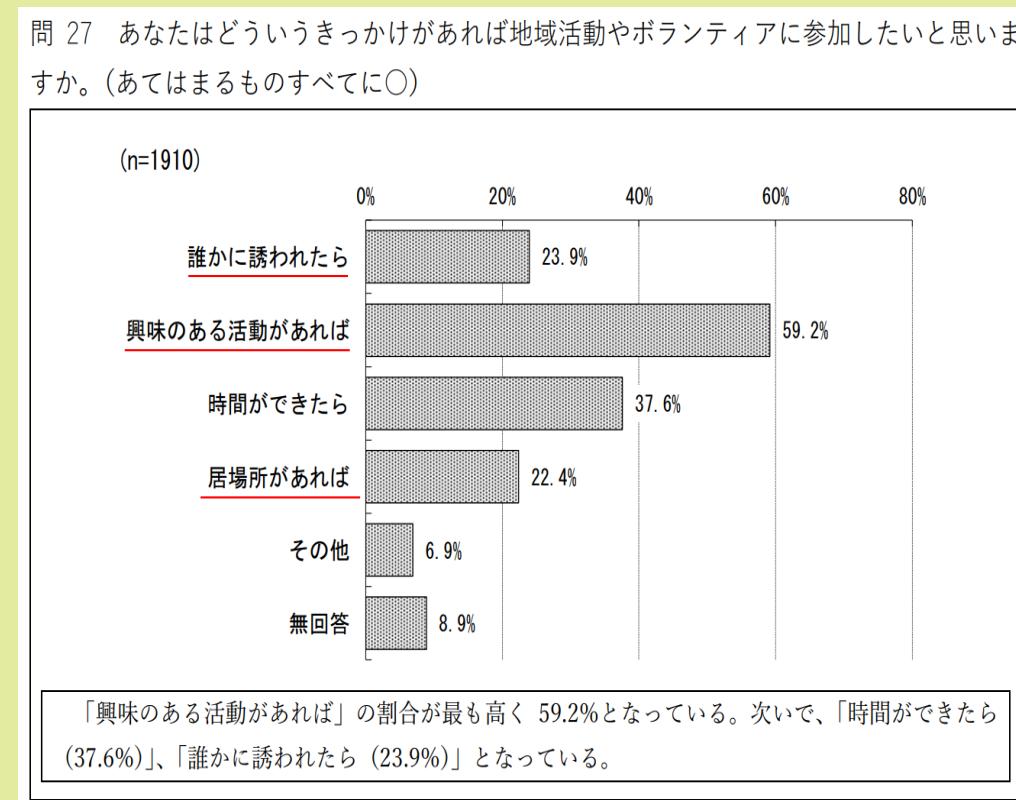
【問23_今までに何かしらの活動に参加している・参加していた_居住年数別】



□現在、何かしらの活動に参加している
□過去に何かしらの活動に参加したことがある
□参加したことはない
□無回答

地域コミュニティでのつながり創出

- ✓ 地域活動への参加のきっかけとしては「興味のある活動」、「誘われたら」、「居場所があれば」などが比較的多い
特に知り合いのいない転入者にとって近所つきあいを創出できる環境があれば、既に居住している住民の交流も活性化できる

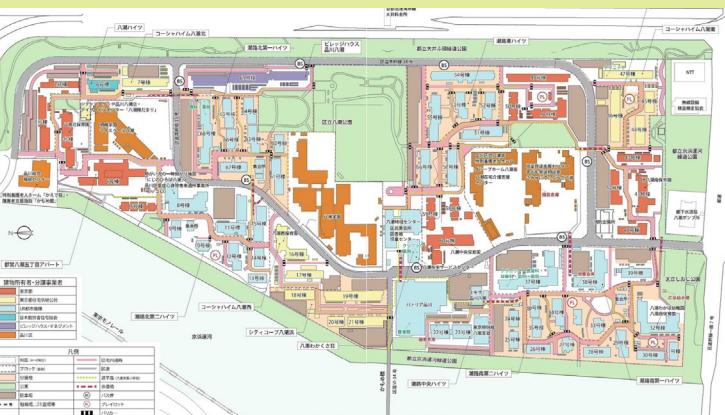


どうしたら地域活動やボランティアに参加したくなるかについて調査アンケート
地域SNS、ピアッザを使うきっかけ→ 地域活動20%、同世代同士の交流→家族同士の交流（三世代だった）

八潮地区での地域活動事例による状況調査

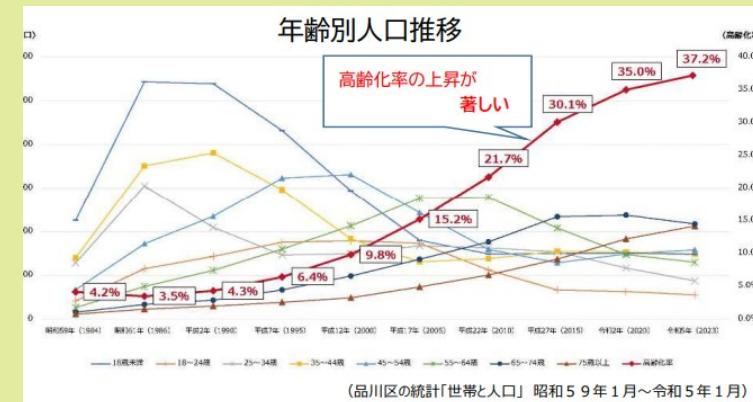
▶ 八潮地区（八潮パークタウン）

- ✓ 30年以上居住住民の高齢化²⁾
- ✓ 外国人居住者 増加²⁾
- ✓ 品川区他地区より少ない交流頻度¹⁾



▶ 地域活動フィールドワーク（認知症カフェ）

- ✓ 認知症予防と交流の場（月1回）
- ✓ 60代後半～70代の参加者（約20名）
- ✓ 認知症知識共有のほか、マジックや健康増進等他団体を招待して楽しむ内容
- ✓ 活動案内・通知
 - ✓ 地区にある掲示板への張り紙
 - ✓ 以前参加者へ個人宛て通知
- ✓ 参加者の声ヒアリング
 - ✓ 張り紙を見て参加
 - ✓ 仕事や介護の区切りで話し相手が欲しくて参加
 - ✓ 新しい入居者と交流する機会はない



<課題>

- ◎遊具の整備や落ち葉の清掃など、公園の適切な維持管理がされていない。
- ◎仕事ができるスペースなど、公園の新たな利活用ができるとよい。
- ◎公園や団地内は街灯が少ない場所があり、夜は暗い。
- ◎医療、福祉だけでなく、お店や公共交通などの生活サービスの充実が必要。
- ◎施設や住宅の老朽化を踏まえた改修や更新が必要な時期となっている。
- ◎さまざまな世代に対応した住まいの充実やバリアフリー化が必要。
- ◎多様な人々や地域住民同士が交流できる屋内・屋外施設があるとよい。
- ◎外国人居住者の増加を踏まえたルールやコミュニティの面での対策が必要。

考察～問題点の抽出～

品川区アンケートより

- ・現在までに“地域活動”に参加していた人ほど、近所との関わり方が深い傾向
- ・地域活動への参加経験は50%弱。居住年数短いほど低い

フィールドワークでのヒアリングより

- ・交流の機会を求めて、地域活動に参加している



<考えられる問題点>

近所とのかかわり方を深める機会となる住民の地域活動への参加率が低い

※ ここでいう地域活動とは

…地域の複数のメンバーが集まって行う何かしらの活動（ボランティアやNPO等の社会活動や趣味を楽しむ、等）

考察～課題＆提案の方向性～

<問題点> 近所とのかかわり方を深める機会となる住民の地域活動への参加率が低い



<課題> 住民の地域活動への参加率をあげる

<考えられる要因>

参加呼びかけの浸透

活動内容わからず不安

興味のある活動内容

気軽に参加できる場所

幅広くいきわたる伝達

活動・参加者がわかる

住民の関心に対応

近所で参加できる場所



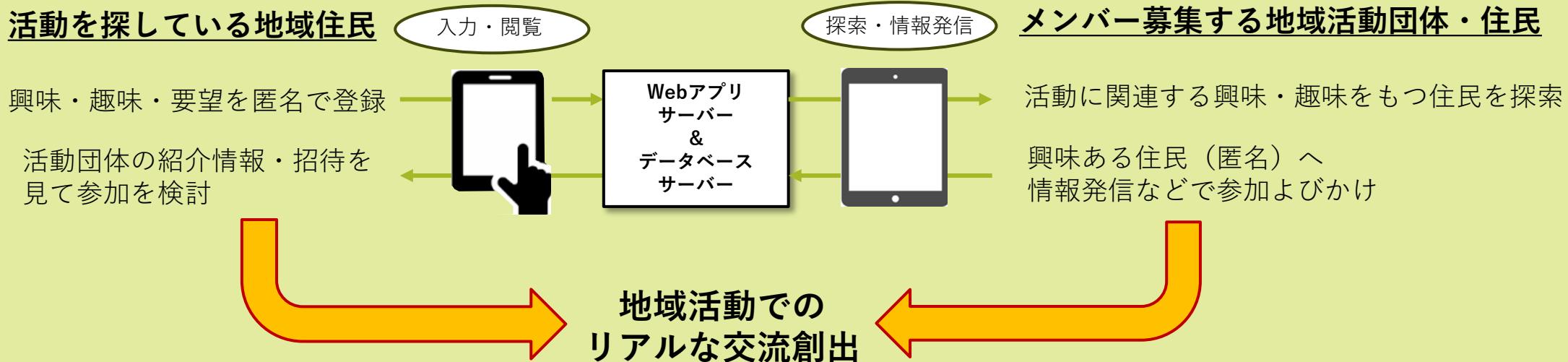
<提案の方向性>

- 住民が参加したくなる活動内容（多様化・ニーズへの対応）
- より多くの住民が認知し、参加しやすい活動情報の伝達

提案（1）興味・趣味・要望登録による地域活動マッチングさせるWebアプリ機能

地域住民の多様な趣味・関心・要望の登録 ⇒ 地域活動とマッチング・新たな活動創出

<機能コンセプト>



<検討内容>

- ✓ 地域活動団体を紹介している行政への機能提案・実現性ヒアリング
- ✓ スマホ・タブレットをあまり使わない住民でも参加しやすいサービスUI



すまいるネット³⁾ (品川区)

提案（2）より小地域での地域活動紹介イベント

近所で地域活動を見つける機会を増やす

より小地域での活動紹介イベント

- ✓ 区レベルより小さい、八潮地区レベルでの活動紹介イベント
 - ✓ 交流施設“こみゅにていぶらざ八潮”での展示
もしくは “八潮地区区民祭り”での紹介
 - ✓ 展示内容
…活動紹介パネル、活動の動画、簡単な活動体験

＜検討内容＞

- ✓ 無理なく作成・更新できる紹介コンテンツ
 - ✓ イベントでの活動体験など交流機会創出



こみゆにていぶらざ八潮⁶⁾



八潮地区区民祭り⁷⁾



イベントイメージ⁸⁾

➤ 区内活動団体ガイドブック⁴⁾（しな活）

＜地域活動紹介活動例（品川区）＞



➤ 品川地域貢献活動展⁵⁾

24年度の活動について

- 24年度はコミュニティ発起人が妊娠出産のため本研究活動を予定通りに行うことができなかつたが、子供を持つ家族の育児支援におけるニーズを実際に経験することで、赤ちゃんの存在が地域での相互扶助(交流)のきっかけとなることを確認できた。
- 22年度のPBLで考案したご近所での育児依頼・支援マッチング、活動実績を「信用ポイント」で表現する仕組みに似た取り組みとして、45年前にイギリスではじまり、日本すでに100地域で4万回以上の育児支援を行っている「家庭訪問型子育て支援 ホームスタート」が子育て家庭で活用されている。「ホームスタート」はボランティアによる無償の育児支援によって運営されており、「信用ポイント」のような仕組みは取り組まれていないが、ボランティアによる無償の育児支援が成り立つことを確認できた。
- 上記の2点を通して、地域住民の相互扶助(交流)を促進する仕組みとしてのご近所での育児依頼・支援マッチングの取組の可能性を再認識した。

Reference

- 1) 品川区の地域福祉に関するアンケート調査 報告書（令和3年5月）
https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/ct/pdf/20180530_2.pdf
- 2) 八潮五丁目地区まちづくりガイドライン（考え方）（令和5年11月）
https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/ct/pdf/yashio_machizukuri_3.pdf
- 3) すまいるネット
<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/chiiki/chiiki-kyodo/chiiki-kyodo-kumin/hpg000011660.html> (2024. 2. 27 閲覧)
- 4) 区内活動団体ガイドブック
https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/contentshozon2023/231101_shinakatsu2023_2p.pdf
- 5) 品川地域貢献活動展
<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/chiiki/chiiki-kyodo/chiiki-kyodo-kumin/20230921144319.html>
- 6) こみゅにていぶらざ八潮
<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/shisetsu/shisetsu-bunka/shisetsu-bunka-bunka/shisetsu-bunka-bunka-komyupura/index.html>
- 7) 八潮地区区民まつり
<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/kuseizyoho/kuseizyoho-koho/kuseizyoho-koho-menu/kuseizyoho-koho-menu-kuminfes2019/20190721135242.html>
- 8) イベントイメージ（参考：さいたま市市民活動サポートセンターフェスティバル）
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/234732>
- 9) 家庭訪問型子育て支援 ホームスタート
<https://www.homestartjapan.org/>